

平成25年度 第1回予防接種運営委員会 会議録

日 時	平成25年7月9日(火) 13:30~15:00
会 場	芦屋市保健福祉センター 会議室
出席者	委員長 高 義 雄 委員 河盛 重造 委員 澤田 喜博 委員 安 元 兆 委員 北 野 章 事務局 越智 恭宏 田中 佐代子 瀬戸山 敏子 井上 登代美
欠 席 者	委 員 津村 直行
事 務 局	健康課
会議の公表	公 開
傍聴者数	0 人

1 会議次第

(1) 委嘱状の交付 委員長選出

(2) 議題

議題1 平成24年度予防接種事業実績について(資料1)

議題2 平成25年度予防接種事業実施計画について

- ・ 高齢者肺炎球菌ワクチン接種費用助成事業について(資料2)
- ・ 風しん予防接種費用助成事業について(資料3)
- ・ 子宮頸がん予防ワクチンの積極的勧奨の見合わせ(資料4)
- ・ 平成25年度芦屋市の予防接種について(資料5)

議題3 その他

2 提出資料

資料1 平成24年度予防接種事業実績について(第7章 感染症対策・予防接種)

資料2 高齢者肺炎球菌ワクチン接種費用助成事業について

資料3 風しん予防接種費用助成事業について

資料4 子宮頸がん予防ワクチンの接種を受ける皆様へ

資料5 平成25年度芦屋市の予防接種について

3 審議経過

(開会)

委嘱状の交付・委員長に高委員を選出。

高委員長挨拶

(高委員長) それでは、議題に入ります。 議題1平成24年度予防接種事業実績について、事務局から説明してください。

(事務局井上) 平成24年度予防接種事業実績について説明いたします。

(資料1)の説明

(高委員長) ただいまの報告について何かご質問はありますか。

(河盛委員) 24年度からBCGが個別化になって接種率が下がっているような印象があるのが残念なのですが、個人的に健診などで診ると接種していない方はおられないようですが、10か月健診時点で、どの程度接種されているのでしょうかね？

(事務局瀬戸山) 10か月健診での把握はできていませんが。

(河盛委員) BCGしてない方は、10か月健診にも来ないかと思う。小児科を受診する人は、必ずBCGを接種するよう言われているから、大体10か月健診の受診率と同じかもしれない。

(事務局田中) はい、10か月健診の受診率は90%くらいです。

(河盛委員) BCGは意図的に接種しない方もおられます。海外で生活する方などで接種しない方もおられ、その方が100人くらいとしたら、率としてこれくらいなものかも知れないけれど、もう少し率はアップしてほしいですね。94~95%くらいは。

(高委員長) 他に何かありませんか？僕から質問ですが、四種混合と肺炎球菌ワクチンとかを同時にしている方は多いですか？

(事務局瀬戸山) 医療機関によって同時接種される先生、別々に接種される先生がおられます。三種混合とヒブ、肺炎球菌と両腕と足に同日にされる方もおられます。

(高委員長) 接種時期が同じですからね。

(事務局瀬戸山) おっしゃる通りです。

(高委員長) 同時接種は、望ましいのですか？

(河盛委員) 何とも言えないのですが、3種類以上を同時接種される場合、左右の手と足にするべきなんですけど、2種類を同側の手にする先生もおられるのですが、望ましくなくないです。子どもは、小さいですから接種場所を空けてするのが望ましいです。それと、最初から混合されたワクチンならよろしいですが、別々のワクチンを何個も小さい子に接種するのは、接種方法として問題があるようにおもわれます。保存剤とかが入っていますから。一度に保存剤がたくさん子どもの体にはいります。免疫的なことばかり問題視されていますが、そちらのほうが問題だと思います。

(高委員長) 他にありませんか？後で質問していただいてもよろしいので。

続きまして、議題2の平成25年度予防接種事業実施計画についてお願いします。

(事務局瀬戸山) (資料2, 3, 4, 5の説明)

(高委員長) 議題2, 3, 4, 5についてご質問はありませんでしょうか？

(河盛委員) 小児用肺炎球菌ワクチンがこれまで7価ですが、先日13価が発売されました。近々、そのワクチンが導入されると思われます。ワクチンの導入がスムーズに行われるように、芦屋ではすみやかな移行をお願いしたい。海外では、ほとんど13価を導入して接種を行っています。

風しんワクチンの助成ですが、補償の面でちがってくるので、芦屋市として健康被害の行政措置予防接種に入れてほしい。風しんの発生は少しおさまってきていますが、また発生が盛り返すと、ワクチン不足が深刻な問題になってきて、MR2期の接種期間などにも、影響がでてくると思われます。このまま収束してくれたいのですが。

(事務局瀬戸山) 県の情報によりますと芦屋市では、風しん発生は、今年に入ってから18人が発症しています。

(河盛委員) 自治体等で無料で接種をおこなうと、ワクチンは、瞬く間に不足します。

(高委員長) 兵庫県において、子宮頸がんワクチンについて窓口対応とかは、おこなっているのですか？

(安元委員) 疾病対策課でおこなっています。積極的勧奨を控えるということになっています。

(澤田委員) 高齢者肺炎球菌ワクチンの対象者について、『手帳取得と同等程度』の表現が少し曖昧な気がします。問い合わせなどを受けた際、説明しにくかった。

(事務局瀬戸山) あらかじめ、対象者に案内を送付しています。手帳の申請していない方など、先生の判断で接種してもらって結構です。

(澤田委員) 風しんのワクチンですが、年齢的な制限はあるのでしょうか？

(事務局瀬戸山) MR, MMRのワクチンを接種したと確認できる方は、1回でも受けられていたら、対象外になり、うけてない、あるいは不明だと対象になります。

(河盛委員) やはり、市が助成するかぎり、風しんワクチンも定期接種とおなじ扱いで補償を手厚くしてほしい。

(事務局瀬戸山)(平成23年1月に任意3ワクチンが始まったときに法定外予防接種(行政措置の予防接種)として予防接種事故災害補償要綱の中に予防接種法に基づかない予防接種により発生した事故に対する災害補償について決めております。)

(高委員長) 副反応の報告がありますか？

(事務局瀬戸山) 前年度、今年度報告はありません。

厚労省のほうから、副反応報告書の様式がかわり、様式の両面に記載したものをファックスするようにと通知が来ております、また、判読できる文字で記入をお願いします。

(河盛委員) 不活化ポリオと四種混合のワクチンですが、不活化ポリオをした方は、四種混合は、できなかったですね。

(事務局瀬戸山) そうです。不活化ポリオを1回もされてないかたに四種混合をしていただいています。

(河盛委員) その不活化ポリオと三種混合を別々にされたかたが、9月、10月に追加接種を迎えるわけですが、その際、四種混合ワクチンを使用するわけにはいかないのですか？そのときのワクチン事情もあるでしょうが、どうなのでしょう？

(事務局田中) 医学的には、どうなのでしょう？問題があるのですか？

(河盛委員) 別にいいでしょう。ただ、ポリオですが、不活化ポリオと四種混合のポリオでは、少し株がちがうようですが、医学的には、大丈夫と言われおり、不活化ポリオと四種混合を混同して接種をしても良いと言われています。

(事務局田中) まだ国・県からの通達はきていません。

(事務局瀬戸山) 市としては費用的なものもありますし。そうですね。市民も注射も何回もしなくていいですからね。県の方に問い合わせます。宿題にさせていただきます。

(高委員長) その他についてはいかがでしょうか？何かありますか。

ご質問が無ければ、これで議題は終了とさせていただきます。

本日の予防接種運営委員会はこれで終了いたします。ありがとうございました。

(事務局越智) 委員長ありがとうございました。

委員の皆様の任期は、平成26年3月末までとなっております。

次回開催は2月上旬を予定させていただきますので、よろしく願いいたします。